



令和3年度 山内図書館事業計画書

有隣堂グループ

2021年3月

目 次

1. 施設と図書館の概要	2
2. 指定管理者	2
3. 山内図書館のコンセプト	3
4. 5年間の達成目標	3
5. 山内図書館の現状と課題	3
6. 令和3年度の事業計画	5
7. 予算案（令和3年度収支予算書）	11
別紙1 令和3年度 自主企画事業 年間計画表	
別紙2 令和3年度 学校連携事業 年間計画表	
別紙3 令和3年度 建築・設備保守管理実施予定表	

1. 施設と図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体4,433.28㎡)
延床面積	2,147.22㎡
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、 身障者用1台)



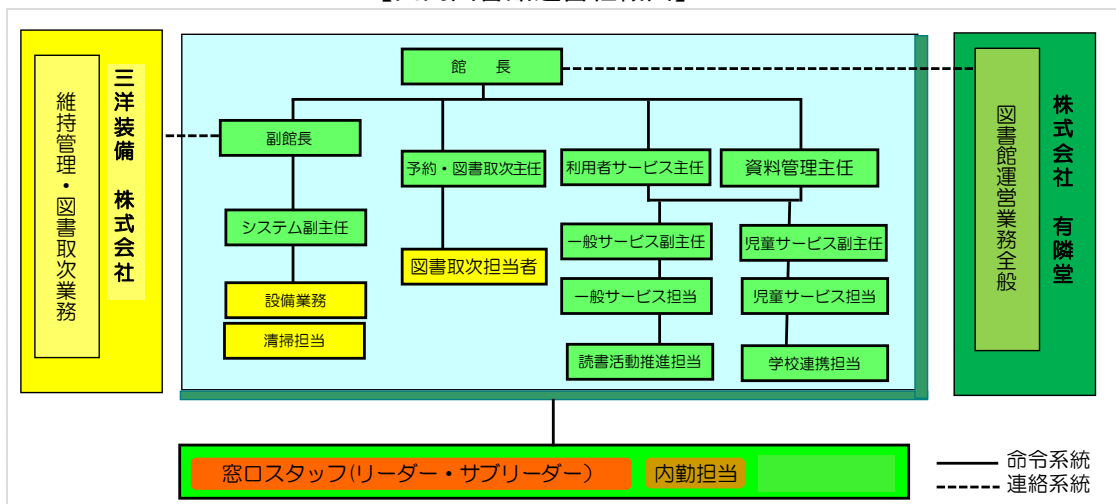
山内図書館は、昭和52年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(195,157冊 令和2年3月末)と規模の大きい図書館です。平成22年度から有隣堂グループを指定管理者とする管理運営が行われており、令和2年度から令和6年度の期間も引き続き有隣堂グループによる指定管理運営を行います。

2. 指定管理者

名称	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表団体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信健太郎
構成団体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生龍太郎
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務を始め、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。

【山内図書館運営組織図】



3. 山内図書館のコンセプト

「地域」の力を「地域」に還元！

山内図書館は青葉区民のプラットフォーム

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」（平成26年施行）のもとで、図書館に「地域連携」という新たな課題が示された第二期では、積極的に地域との連携を図ってきました。第三期では、さらに連携を進め、地域コミュニティ創造の担い手として、民間ノウハウ・民間能力を十分に発揮し、インパクトのある事業の創出や、チャレンジ感あふれる取り組みを実践し、地域に根ざしたサービスの拡充に努めます。

4. 5年間の達成目標（令和2年4月～令和7年3月）

指定管理の実施により達成すべき目標は以下の3つです。

- (1) 地域の情報拠点機能を強化し、地域の要望や要請に応えられる蔵書構築に努め、暮らしに役立つ情報の収集・提供を行います。
- (2) 司書が読書活動コーディネーターとして地域との連携を進め、地域の読書活動を推進します。
- (3) 快適で楽しい読書環境づくりを促進します。

5. 山内図書館の現状と課題

(1) 青葉区民読書活動推進目標

令和2年度に「第二次青葉区民読書活動推進目標」が策定されました。同目標で掲げた「読書活動を介したコミュニケーションの向上と、区民が本に親しむ環境づくり」、「読書活動ボランティア相互の連携と、活気ある地域づくり、担い手づくり」という2本の目標を柱として、読書活動をすすめていきます。

(2) 利用状況

	入館者数	貸出冊数 ※	図書取次 貸出冊数	新規登録者数	自主企画事業 参加者数
平成21年度	540,679	※ 811,662	92,383	7,043	2,669
平成22年度	549,059	※ 787,102	103,110	6,786	3,446
平成23年度	549,568	※ 754,159	110,931	6,115	4,435
平成24年度	560,787	※ 719,596	110,857	5,945	4,718
平成25年度	562,329	658,182	99,322	5,912	4,469
平成26年度	551,121	654,164	105,211	5,921	4,868
平成27年度	543,330	654,705	108,496	5,890	5,241
平成28年度	535,242	642,412	114,483	6,164	5,564
平成29年度	533,085	634,517	119,395	6,043	4,441
平成30年度	528,282	629,273	123,306	6,005	4,632
令和元年度	506,932	599,724	107,268	5,157	3,841

※ 平成24年12月以前はインターネットによる貸出延長を含む

令和2年の1月に新型コロナウイルスの日本における感染が報告され、以降外出の機会が徐々に減っていきました。3月2日からは横浜市立図書館全体で予約本の受取と返却のみにサービスを限定しました。山内図書館においても限定サービスを実施する中、2月末からおはなし会をはじめとする自主企画事業を中止しました。その結果、令和元年度の入館者数は前年度比4%、貸出冊数は前年度比5%、図書取次貸出数は前年度比13%、新規登録者は前年度比14%、自主企画事業参加者数は前年度比17%、それぞれ減少しています。令和3年度以降も新型コロナウイルスによる利用の低下は避けられないと考えます。コロナ禍でも、安全・安心に山内図書館を利用いただくため、感染対策を徹底的に実施します。また、自主企画事業については、その都度感染状況を鑑みながら協議を重ねたうえで、実施していきたいと考えます。

(3) アンケート

令和2年度は来館者を対象とした利用者満足度調査を行いました。8月の4日間で実施、791人から回答を得ました。山内図書館に「全体として満足」と回答した方は92%となっていました。特にスタッフに対しては97%の方が満足と回答しており、今後も研修等をとおして接遇の向上に努めていきます。一方、8%の人が「全体として不満足」と回答しています。今回の調査では新たに、山内図書館に対して不満足に感じる点を答える記述式の設問を加えました。その回答として「館内が暗い」、「新型コロナウイルス対策が不十分」というご意見があがっており、令和3年度に早急に改善していきます。

(4) 利用者フォーラム

山内図書館への意見や提案を運営に反映するために、年2回利用者フォーラムを開催してきましたが、新型コロナウイルス感染防止対策として、人が集まる機会を極力少なくするため、令和2年度は10月に1回のみ開催しました。

令和2年度は、新たなメンバーとして障害者支援施設の所長を迎えました。

令和2年度の利用者フォーラムでは以下のアイデアやご意見が出されました。

【レファレンスサービスの広報】

- ・図書館では、郷土資料などインターネットでは探すことができない情報を得ることができる。
- ・図書館のレファレンスサービスについて、もっと広報をして利用者に知ってもらうべきである。
- ・デスクに座って待っているだけではなく、困っている様子の人に声をかけていく。

【山内地区センターとの協働】

- ・同じ建物に入っているため、山内地区センターと協力して事業や研修を行う。

【図書館のある生活】

- ・本によっていろいろなことをイメージできるようになり、人の痛みがわかるようになる。それがないと、障害者の差別につながる。

【SNSの活用】

- ・発信内容を精査して、幅広い世代に情報が届くようにしてはどうだろうか。

6. 令和3年度の事業計画

(1) 令和3年度の運営目標

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、状況に合わせて柔軟に図書館を運営していきます。

昨年度までと同様に、青葉区役所や区内市民利用施設、ボランティアや市民と協働して読書活動を推進します。昨年度策定した「第二次青葉区民読書活動推進目標」を軸に、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の人びとが、豊かな読書活動を行うことができるように図書館を運営していきます。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、「読書」によって市民が正しい知識を得られるように、感染症関連の本を重点的に収集していきます。

自主企画事業は、感染防止対策を徹底的に施し実施します。また、感染症の流行状況によって、開催の有無や規模を速やかに決定し、臨機応変に対応していきます。

目標設定の視点	令和3年度運営目標	令和3年度 管理指標・数値
ア 利用者 サービス	(ア) 区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携して地域の読書活動を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターまつり等への事業協力 2回 ・乳幼児健診に向いてのおはなし会開催 6回 ・修理ボランティアに活動の場を提供 50回 ・読み聞かせボランティアに活動の場を提供 40回 ・読み聞かせボランティアの養成講座開催 1回 ・学校連携事業 別紙2参照
	(イ) 読書活動推進のために、区内の読書活動拠点のネットワークを構築します	<ul style="list-style-type: none"> ・読書関係団体交流会 1回 (青葉区役所との共催、山内図書館担当)
	(ウ) 図書館の環境を整備・改善していきます	<ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化 開架未交換部分の一部 ・デジタルサイネージの導入 1台
	(エ) 新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底的に実施します	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレおよび給湯室の手洗いの自動水栓化 10カ所 ・便座クリーナー用ディスペンサーの設置 9カ所 ・消毒液スタンドの設置 2台 ・閲覧席にアクリル板増設 9枚 ・カウンターにアクリル板増設 2枚 ・消毒液、ビニール手袋、便座クリーナー等、消毒用物品の補充 適宜

ア 利用者 サービス	(オ) ICTの活用(オンライン配信)により、市民に対して読書に有益な情報を提供します	<ul style="list-style-type: none"> ・配信環境の整備 パソコン、カメラ、マイク等機器の整備 ・自主企画事業の中で、オンライン配信向きのテーマについて会場と配信の2本立てで実施 2回
	(カ) 市民の必要とする情報を収集するとともに、課題解決の支援を行います	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決支援自主企画事業 6回 別紙1参照
	(キ) 市民が楽しみながら参加できる大人の倶楽部活動を起ち上げます	<ul style="list-style-type: none"> ・読書倶楽部の活動 6回
	(ク) 障害者支援を積極的にすすめます	<ul style="list-style-type: none"> ・県立特別支援学校からの職業体験受け入れ 2校 ・対面朗読の実施 20回 ・りんごの棚(障害者向けの本、障害者を理解するための本を別置)の充実 20冊
	(ケ) 読書支援ツール「Life with Reading」やビブリオバトルの普及に努めます	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験への「Life with Reading」ワークショップ導入 適宜 ・市民利用施設における開催支援 2回 ・ホームページ<学校支援>のページに、小学生向けワークショップ開催方法を掲載
(コ) 広報活動を幅広く行います	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、ブログを活用した情報発信 適宜 ・SNSを活用した情報発信 ツイッター 200回 ・青葉区役所戸籍課への図書館作成チラシ提供 600枚×12回 ・図書館だよりの発行 4回 	
イ 業務運営	(ア) コンプライアンスの徹底を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修 1回
	(イ) 危機管理、安全衛生管理を徹底し、安心・安全な図書館をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ・事件・事故を想定した危機対応研修 1回 ・地区センターと合同で行う災害時対応研修 2回
	(ウ) 防犯対策の維持向上に努めます	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの運用 ・図書館スタッフ、設備管理スタッフによる巡回 1日8回以上
	(エ) 個人情報保護の遵守についてスタッフ全員に周知徹底します	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護教育 2回 ・個人情報内部監査 1回 ・個人情報保護研修 1回

ウ 職員育成	(ア) スタッフへの教育・研修を実施し、能力向上・意欲の維持向上に努めます	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修 1回 ・接客研修 1回 ・人権研修 1回 ・情報セキュリティ研修 1回 ・アルバイト向け修理講座 1回
エ 財務	(ア) 予算内に経費を抑え、効率的に管理します	<ul style="list-style-type: none"> ・山内堂の売り上げ 8万円 <p style="text-align: center;">※令和2年度の実績に基づき算出</p>

(2) 令和3年度の具体的な取り組み

ア 利用者サービス

(ア) 地域の読書活動推進

- ・区内の市民利用施設と協力して読書活動の推進を図ります。
- ・青葉区役所子ども家庭支援課と読書活動推進事務局会議を定期的に開催するなど、協力体制を維持します。
- ・令和2年度に策定した「第二次青葉区民読書活動推進目標」に沿って事業を展開します。
- ・青葉区役所で行われる乳幼児健診（1歳6か月）に出向いて、手遊びやわらべうたを交えたおはなし会を開催します。
- ・修理ボランティアに活躍の場を提供します。現在活動している2グループには、山内図書館で定例の活動日を設け、本の修理をしてもらいます。学校連携事業にも参加してもらおうほか、利用者の前で修理を行う公開修理を行います。
- ・読み聞かせボランティアが活躍できる場をつくります。区内の施設や団体から話し手の依頼があった場合は、読み聞かせボランティアとのコーディネートを行います。また、山内図書館が開催する各種おはなし会に参加してもらいます。
- ・おはなしボランティアを育成する講座を開催します。
- ・学校図書館ボランティアや学校司書を対象に修理・製本、読み聞かせ、環境整備に関する講座を開催します。各講座初級とスキルアップの講座を準備しています。教職員や学校司書を対象に読書活動や学校図書館の環境整備に関する相談に応じます。

(イ) 読書活動拠点のネットワークを構築

- ・「読書活動団体交流会」を青葉区子ども家庭支援課と共催します。令和3年度は山内図書館が担当となります。図書貸出施設の担当者、読み聞かせボランティア、学校司書等が集まり情報共有および交流をすすめる会とします。

(ウ) 図書館内の環境整備

- ・LEDに未交換の照明について、一部LED化をすすめます。
- ・デジタルサイネージを導入して、館内における情報発信に活用します。

(エ)新型コロナウイルス感染症予防対策

- ・トイレと給湯室の手洗いの水栓を自動のものに入れ替えます。
- ・トイレの便座清拭クリーナー用ディスペンサーを設置します。
- ・入口2カ所に設置している消毒液をスタンドタイプのものに入れ替えます。
- ・閲覧席およびカウンターの間仕切りをアクリル板に替え、感染予防効果を高めます。

(オ) ICTの活用

- ・パソコン、カメラ、マイク等機器をそろえ、配信環境を整備します。
- ・大型講演会は、会場とオンライン配信の2本立てで行います。他、オンライン配信に向いている事業を検討し、オンラインによる配信を行います。

(カ) 課題解決支援

- ・年間を通じて課題解決に役立つ講座や展示を開催します。
- ・夏休みに児童を対象とした講座を開催します。
- ・Zoomの使い方講座を開催し、配信型の講座に参加することを支援します。
- ・OPAC（図書館資料検索機）の利用を支援します。パスワード、メールアドレスの登録を促し、利用者自身がOPACやご自宅のパソコン、スマートフォンで予約できるように案内していきます。

(キ) 大人の倶楽部活動の起ち上げ

- ・読書活動を共に楽しむ「倶楽部」を起ち上げます。
- ・読書会のほか、「ビブリオバトル」や「Life with Reading」といった比較的新しい手法を取り入れて、活動します。
- ・司書も参加し、市民と読書を通じた交流を図る場とします。

(ク) 障害者支援

- ・県立特別支援学校の生徒を職業体験で受け入れします。昨年度に引き続き、2校から受け入れる予定です。
- ・令和元年度に新設した「りんごの棚」（障害者向けの本および障害者を理解するための本を集めて置いたコーナー）の蔵書を補強します。

(ケ) 読書支援ツール「Life with Reading」とビブリオバトルの普及

- ・「Life with Reading」（慶應義塾大学井庭崇研究室と株式会社有隣堂の共同開発ツール、「創造的読書」の考え方を言語化し、27個の言葉にまとめたカード）を使って読書のコツや楽しみ方を共有します。地区センター、地域ケアプラザ等の市民利用施設におけるワークショップの運営を支援します。
- ・小学校向けワークショップの開催方法をホームページ〈学校支援〉の中で紹介します。
- ・大人の倶楽部活動の中でビブリオバトル（決まった時間で本を紹介し合い、読みたくなった本《＝チャンプ本》を投票して決定する書評ゲーム）を実施します。

(コ) 幅広い広報活動

- ・ホームページとブログを更新し、それぞれの特徴を活かした情報発信をします。

- ・ツイッターによる SNS 情報発信を積極的に行い、広報の周知を図ります。
- ・青葉区役所戸籍課協力の下、青葉区への転入者に図書館サービスのチラシを配布し、山内図書館のサービスを周知します。
- ・紙媒体の広報として『図書館だより』を年4回発行します。

イ 業務運営

(ア) コンプライアンスの徹底

- ・コンプライアンスの内部監査を実施し、法令遵守と倫理の徹底を図ります。職員は、有隣堂のエシックスカードを常時身に着け行動します。また、年度当初に企業行動指針を基にしたコンプライアンス研修を実施します。
- ・山内図書館の運営情報（「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「図書館利用者満足度調査報告書」「セルフモニタリング評価書」「横浜市山内図書館指定管理者運営評価報告書」）を、積極的に公開していきます。

(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底

- ・職員会議を週1回開催し、図書館運営上の課題を話し合い改善していきます。
- ・職員とアルバイトスタッフの代表で月1回ミーティングを行い、安全衛生を含めた課題を話し合い、解決していきます。
- ・「災害対応マニュアル」と「事件・事故防止及び対応マニュアル」を更新し、スタッフに周知します。
- ・併設の山内地区センターと合同で災害時対応研修を年2回実施します。
- ・山内図書館、山内地区センターと施設管理者の3者ミーティングを年4回行い、危機管理の情報共有を行うとともに課題解決に向けた話し合いを行います。

(ウ) 防犯対策の維持向上

- ・図書館の両入口付近、および児童コーナーに設置した防犯カメラを運用します。
- ・施設管理者が館内外を巡回します。また、職員は、カウンター業務が終了した際に館内を巡視します。

(エ) 個人情報の適正管理

- ・横浜市立図書館個人情報保護に関する方針及び有隣堂個人情報保護方針にもとづき個人情報を適正に管理します。
- ・有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査を年1回行います。
- ・個人情報棚卸（リスクチェックとプロセス分析およびリスク対策）を年2回行います。
- ・スタッフ全員を対象に、個人情報取扱についてテストを行い、取り扱いについての確認研修を実施します。

(オ) その他

- ・有隣堂本部と館長により職員及びアルバイトの評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげます。
- ・建築物・建築設備ともに建築・設備保守管理実施予定表（別紙3）に基づき点検を実施し、異常が発生する前の予防保全を行っていきます。

- ・巡視点検を行い、異常の有無の早期発見をし、計画的な予防保全等修繕を実施します。
- ・清掃・環境衛生管理は、業務水準どおり適切に維持管理を行い、定期清掃ではワックス掛けし美観を保ちます。

ウ 職員育成

(ア) スタッフの教育・研修

- ・職員とアルバイトを対象とした下記研修を実施し、カウンターにおける対応の向上を図ります。

実施月	研修テーマ	内 容
4月	接客研修 コンプライアンス研修 個人情報保護研修	日常の接客対応の基本と個人情報保護
5月	簡易修理研修	アルバイト対象：ページの破れや取れなどの簡易的な本の修理の演習
6月	災害時対応研修 ① (地区センターと合同)	災害発生時に山内地区センターが帰宅困難者一時滞在施設として開設するための手順や留意点
9月	人権研修	感染症とそれから派生する人権問題
12月	危機管理研修 (地区センターと合同)	不審者が施設内に侵入した場合等を想定した対応訓練
2月	情報セキュリティ研修	有隣堂総務部情報システム課による情報セキュリティ規則の研修と確認テスト
3月	災害時対応研修 ② (地区センターと合同)	消防署の指導によるAEDの取り扱い訓練

- ・職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会等主催の研修に参加し、それぞれの専門性を向上させます。

エ 財務

(ア) 効率的な管理

- ・予算内に経費を抑え、効率的に管理します。

(イ) その他

- ・山内堂は、コロナ禍で自主企画事業と連動した書籍等の売り上げを見込むことは難しい状況ですが、令和2年度に引き続き利用者のニーズを捉えた品揃えを維持し、目標とする売り上げを目指します。

7. 予算案（令和3年度収支予算書）

令和3年度 「横浜市山内図書館」 収支予算書

収入の部						(税込、単位:円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	180,217,000		180,217,000		180,217,000	横浜市より
利用料金収入					0	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業)収入	80,000		80,000		80,000	参考:令和2年度実績
自主事業収入					0	
雑入	360,000		360,000		360,000	
自動販売機手数料等	360,000		360,000		360,000	参考:令和2年度実績
その他()					0	
収入合計	180,657,000		180,657,000		180,657,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	103,402,300		103,402,300		103,402,300	
給与・賞金	87,532,500		87,532,500		87,532,500	賞金スライド
社会保険料	9,174,800		9,174,800		9,174,800	
通勤手当	5,936,000		5,936,000		5,936,000	
健康診断費	377,000		377,000		377,000	
福利厚生費	382,000		382,000		382,000	
事務費	4,495,000		4,495,000		4,495,000	
旅費	200,000		200,000		200,000	
消耗品費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	感染症対策物品含む
通信費	500,000		500,000		500,000	
使用料及び賃借料	15,000		15,000		15,000	
備品購入費	240,000		240,000		240,000	
雑誌・新聞購入費	1,620,000		1,620,000		1,620,000	
施設賠償責任保険	120,000		120,000		120,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料(ごみ処理費)	180,000		180,000		180,000	
事業費	5,518,400		5,518,400		5,518,400	
自主事業費	4,700,000		4,700,000		4,700,000	座席予約システム料、 デジタルサイネージ含む
自主事業費(図書取次サービス)	818,400		818,400		818,400	
管理費	35,891,300		35,891,300		35,891,300	
光熱水費	18,700,000		18,700,000		18,700,000	
電気料金	11,000,000		11,000,000		11,000,000	一部LED化による電力量減見込
ガス料金	3,500,000		3,500,000		3,500,000	H28~30年度の実績平均に基づく
水道料金	4,200,000		4,200,000		4,200,000	H28~30年度の実績平均に基づく
清掃費	5,247,000		5,247,000		5,247,000	
修繕費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械警備費	880,000		880,000		880,000	
設備保全費	6,614,300		6,614,300		6,614,300	
空調衛生設備保守	1,991,000		1,991,000		1,991,000	
消防設備保守	396,000		396,000		396,000	
電気設備保守	1,221,000		1,221,000		1,221,000	
害虫駆除清掃保守	126,500		126,500		126,500	
建築設備保全費	2,186,800		2,186,800		2,186,800	
その他保全費	693,000		693,000		693,000	飲料水・ウォータークーラー水質検査、 植栽剪定・草刈、煤煙測定業務
共益費	2,950,000		2,950,000		2,950,000	LED交換、 トイレの手洗い自動水栓化
公租公課	9,350,000		9,350,000		9,350,000	
事務経費	22,000,000		22,000,000		22,000,000	研修教材費、 本部支援費(人件費、システム経費等)
支出合計	180,657,000		180,657,000		180,657,000	
差引	0		0		0	

月	事業名	予算措置	記者発表の 予定	備考(連携先等)
4月	【企画展示】			
	【企画展示】新学期、よんでみようこんな本！			
	春の特別・英語のおはなし会	○		横浜青葉国際交流の会、国際児童文庫協会
5月	【企画展示】			
	ふるさと青葉の紙芝居① 〈学〉環境整備：本の修理初級編（全2回）			あおば紙芝居一座
6月	【企画展示】			
	〈学〉読み聞かせ講座：初級編（全3回）			
	あざみ野ブックカフェ①	○		
	はじめてのZoom講座 大人のためのおはなし会①	○		虹の部屋
7月	【企画展示】夏休み、よんでみようこんな本！			
	小学生夏休み一日図書館員 図書館ボランティア			
8月	やまうちとしゃかん 夏のおはなしウィーク	○		地域で活動するおはなしボランティア
	わくわく科学教室	○		
	【企画展示】			
9月	おはなしボランティア養成講座（全3回）	○		
	書きたい人のショートショート講座	○		
	あざみ野ブックカフェ②	○		
10月	【企画展示】			
	青葉の伝統芸能・牛込の獅子舞見学	○		牛込古典獅子舞保存会
	〈学〉修理ステップアップ講座（全3回） 大人のためのおはなし会②			虹の部屋
11月	【企画展示】			
	秋の特別おはなし会	○		
	【事業協力】青葉おはなしフェスティバル2021			青葉おはなしフェスティバル実行委員会
	【事業協力】山内地区センターまつり ブース出展 【事業協力】区民交流センターまつり ブース出展			
12月	【企画展示】			
	あざみ野ブックカフェ③	○		
1月	【展示】			
	ふるさと青葉の紙芝居②&青葉区いろはカルタ大会 著名人講演会	○	○	あおば紙芝居一座 青葉区役所との共催
	〈学〉読み聞かせステップアップ講座	○		
2月	【企画展示】学校図書館展示			
	大人のための調べ方講座 大人のためのおはなし会③			新聞社 虹の部屋
	【企画展示】			
3月	【企画展示】			
	あざみ野ブックカフェ④	○		

定例おはなし会

事業名・団体名	対象	日時
空とぶじゅうたん絵本と語りおはなし会	3歳児～	毎月第2・4水曜日 15:30～16:00
空とぶじゅうたん絵本と語り親子おはなし会	1歳以上の子ども と保護者	毎月第2・4金曜日 ①10:30～10:50 ②11:00～11:20
乳幼児健診出張おはなし会	乳幼児健診を受診 する親子	毎月1回木曜日 ※7,8月除く

その他の定例的な事業

事業名	対象	日時
子どもを育てるあそびとおはなし！“おはなしごっこ012”	0～2歳児と保護 者	毎月第4木曜日 10:30～11:45